

中部圏と関西圏を結ぶ物流の大動脈

名阪国道



©Geoscience, NTT DATA, RESTEC / Included©JAXA

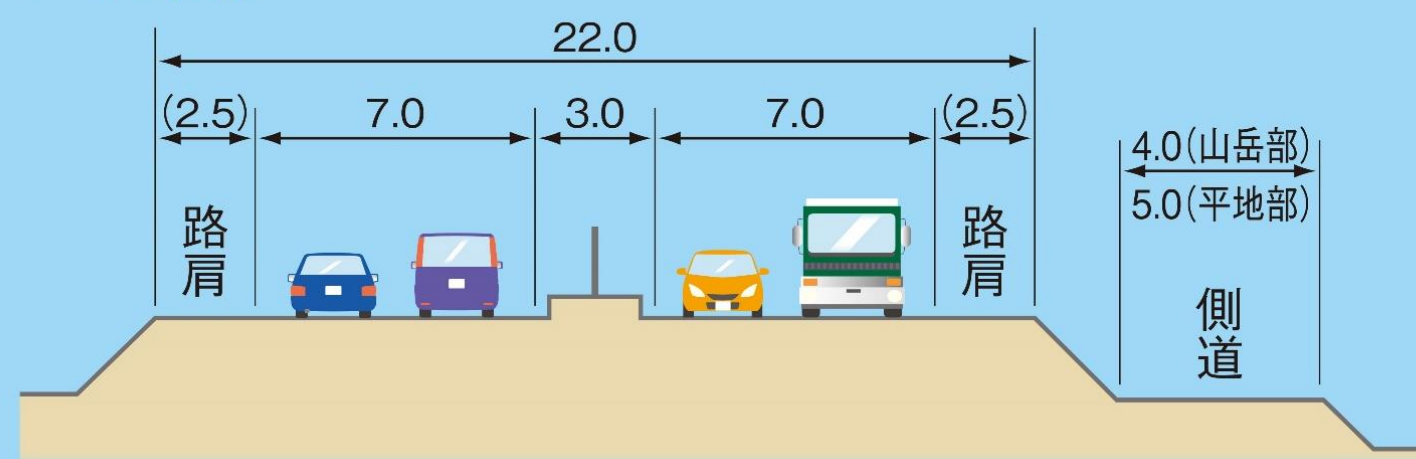


「千日道路」の異名を持つ 自動車専用道路

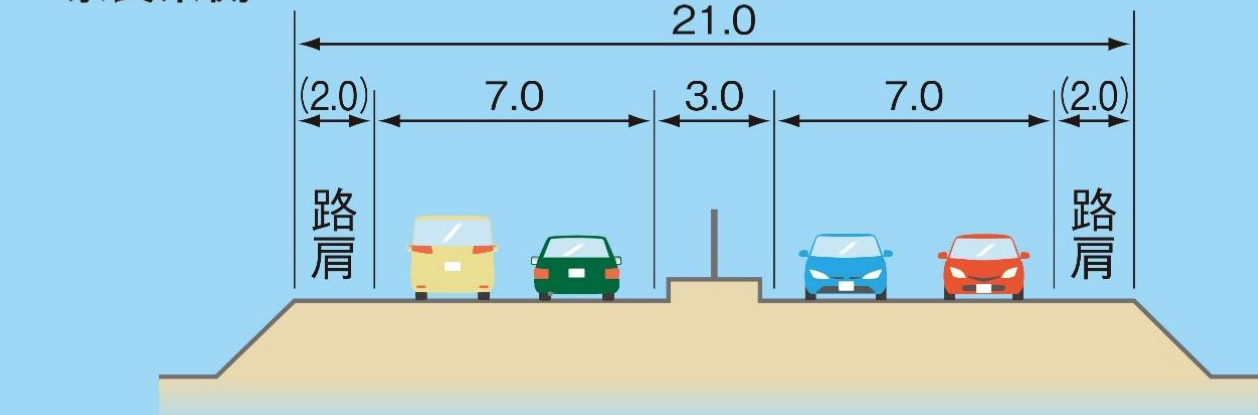
国道25号名阪国道は、三重県亀山市太岡寺町～奈良県天理市
櫛本町迄の延長約73kmの一般国道の自動車専用道路として
建設され、供用開始まで1000日という目標が示されたことから
「千日道路」という異名を授かった。昭和40年12月に暫定2車線で
開通し、その後、昭和55年3月に全線4車線が完成した。
中部圏と関西圏を結ぶ物流の大動脈であるのと同時に、29の
インターチェンジ(IC)があり、沿道地域の生活道路でもあるという
2つの異なる特徴をあわせもっている。

標準断面図〈盛土部〉(単位:m)

● 三重県側



● 奈良県側



名阪国道概要

事業区間(起点)	三重県亀山市太岡寺町
事業区間(終点)	奈良県天理市櫛本町
事業延長	73.2 km
道路構造規格	第1種第3級・第1種第4級
速度設計	80km/h(一部60km/h)
計画幅員	〈三重県側〉 W=22m(4車線×3.5m) 〈奈良県側〉 W=21m(4車線×3.5m)